

「えらぶ年寄り組」の「ボランティア体験・学習キャンプ事業」は
ユネスコエコパークの地元活動をめざしています。

「えらぶ年寄り組」2018年12月

2012年 「えらぶ年寄り組」の立ちあげ

国立公園（2007年編入）に暮らす島民として、
島民自らで、島の自然を知ろう！と始めたのが、

「えらぶ年寄り組」が<自然を知る・見守る・発信する>でした。

.忙しい若い人達に代わっての活動です。

2012年～2018年 「えらぶ年寄り組」の活動<自然を知る・見守る・発信する>

年	調査・学習の内容	情報発信	備考
2007			国立公園編入
2012	「えらぶ年寄り組」立ち上げ ウミガメの生息調査を始める	ホームページ 「口永良部島ポータルサイト」 立ち 上げ	
2013	屋久島町 ウミガメ保護・監視業務	季刊「くちのえらぶの自然」発行	
2014	屋久島町 ウミガメ保護・監視業務 環境省 グリーンワーカー（GW）業務	学習会・見学会の実施	
2015	環境省 GW業務		噴火避難
2016	環境省 GW業務	「ボランティア体験・学習キャンプ」 立ち上げ	ユネスコエコパ ーク拡張
2017	環境省 GW業務 屋久島環境文化財団 生物多様性調査・啓発業務		
2018	屋久島環境文化財団 生物多様性調査・啓発業務		

調べたこと 2012年～2018年

対象	調べたこと	備考
ウミガメ (向江浜)	上陸・産卵調査	立ち入り禁止で中断
アオウミガメ (美浦)	水中カメラで、生息調査	
エラブオオコウモリ	頭数、ペリット（食痕）調査	
ヤクシカ	頭数推定	
ノヤギ	頭数推定	
林床植生	林床回復調査	
タカツルラン	生育調査	立ち入り禁止で中断
ツルランなどラン類 希少な植物（絶滅危惧種など）	生育調査	

2016年 「ボランティア体験・学習キャンプ事業」を立ち上げた。

国立公園やユネスコパークには、

<自然を守るだけでなく、活用することも重要>.という**理念**がある。

そこで、

「キャンプ事業」が、この理念を実現するためにふさわしいのでは.と始めた。

「ボランティア体験・学習キャンプ事業」の内容

島外の生徒・学生に
「えらぶ年寄り組」の自然調査や保護活動をボランティアで手伝ってもらおう。

参加者には、
①島の自然
②噴火災害
③島の歴史や暮らしなどを学んでもらう。

参加者は自炊、宿泊費・研修費は無料

「キャンプ事業」の特徴

ユネスコエコパークが地元で要求する条件
<自然の調査や研究、教育・研修の場を提供する>
<自然を守り、活用しながら暮らす>
.などを満たしている。

参加グループと活動 2016年

参加グループ	参加者数	所 属	参加期間	延べ人数 (人・日)
屋久島高校生	5人	林床植生調査、ヤクシカ調査	8月3日間	15
大学生A	7人	エラブオオコウモリ調査	8月4日間	28
大学生B	1人	エラブオオコウモリ調査	8月3日間 10月3日間	6
専門学校生A	5人	エラブオオコウモリ、林床植生調査	7月～8月15日間	75
専門学校生B	1人	林床植生調査	8月15日間	15
専門学校生C	3人	ヤクシカ糞塊調査	10月4日間	12
合計	22人			151

参加：屋久高、東京環境工科専門学校、鹿児島国際大学、大阪市立大学

参加グループと活動 2017年

参加グループ	参加者数	ボランティア内容	参加期間	延べ人数 (人・日)
専門学校生A	7人	シカ柵作成、ツルラン調査、 昆虫採集講習会・学習会	7月5日間	35
専門学校生B	2人	ウミガメ調査など	7月15日間	30
専門学校生C	1人	シカ糞塊調査	7月8日間	8
屋久島高校生	(7人)	台風で中止	8月2日間	台風で中止
専修学校生	1人	シカ柵作成、ツルラン調査	8月9日	1
大学生	3人	ライトセンサスでヤクシカ頭数調査	8月4日間	12
専門学校生D	2人	植生調査	10月6日間	12
合計	16人			97

参加：屋久高、東京環境工科専門学校、奈良医療大学、大阪市立大学、大阪大学、きのくに高等専修学校

参加グループと活動 2018年

参加グループ	参加人数	所属組織	参加期間	延べ人数 (人・日)
屋久島高校生A	6	林床植生調査	8月3日間	18人・日
大学生・専門学校生B	5	林床植生調査 噴火警戒レベル4で中断	8月2日間	10人・日 中断
専門学校生C	(2)	台風接近で来島中止	10月10日間	台風で中止
合計	11			28

参加：屋久高、東京環境工科専門学校、きのくに高等専修学校、東京看護専門学校、きのくに高等専修学校